

## 会議記録

会議件名	第4回大東大須賀区域認定こども園化推進委員会
日時	平成28年5月19日（木）10：00から12：00
場所	大須賀市民交流センター会議室
出席者	推進委員会委員 16名（4名欠席） 事務局 11名

### 会議の概要

#### 1 開会

#### 2 あいさつ 山本委員長より

本日は具体的な詰めをしていく段階に入る。それぞれの立場からご意見をいただきたい。

#### 浅井副市長より

本日は第4回になる。メンバーも少し変わったがよろしくをお願いします。

振り返るとこの委員会も昨年の11月に第1回を開催し、熱心にご議論いただいた。そしてもっと広く知っていただくべきとのことで、12月には保護者や地域の皆さんによるワークショップを行い、勉強会とご意見をいただいた。そして現場を見ようということで、小規模園の中幼稚園と大規模園である乳幼児センターすこやかへの現地視察を行い、イメージしていただき第2回、第3回と議論をしてきたところである。ビジョンが大事だという意見があったので、3月17日に開催した第3回では「掛川市乳幼児教育ビジョン」でお示しさせていただいた。また、子どもたちの未来のためにさまざまな施設の保育・教育の関係者が一つになって質の高い教育・保育を進めるため、「掛川市乳幼児教育未来学会」を作っていきたい。できるだけ早く作り、色々な枠組みとともに質の向上、先生達の一生懸命な気持ちを大切にしたいと考えている。

さて、大東大須賀区域認定こども園の整備場所についても、たくさんのご意見をいただきありがとうございました。いただいたご意見を参考にしながら庁内協議を進めている。それを本日、皆さんに整理していただいて改めて、整備場所やその他のことについてご意見を賜り、まとめていきたい。次回には提言書（案）のようなものをできればありがたいと考えている。

本日の会議では、活発なご議論をお願いします。

#### 3 報告事項

##### (1) 委員の交替について（資料1）

役員交代、定期人事異動に伴う委員交替。

#### 伊藤寿昭委員より就任のあいさつ

現在三井区長2年目である。よろしくをお願いします。

#### 伊藤達委員より就任のあいさつ

大須賀区長会代表で受けさせていただいた。一生懸命務めさせていただきます。

#### 4 協議事項

##### (1) 大東大須賀区域幼稚園保育園の認定こども園化について

資料1について事務局より説明。

#### 質疑

委員長 ご質問、ご意見があればお願いしたい。

委員 将来的な人口推移は勘案していると思うが、何年くらいを想定しているのか。

- 事務局 掛川市の総合計画の中で各地域の今後の人口推移は示されている。手立てを講じる講じないでパターンがいくつかあるが、平成37（2025）年までの状況を推計している。
- 委員 それほど長いスパンの推移ではないということか。
- 事務局 基本となる総合計画において、地区別の人口推計が平成37年までしか推計されていない。総合計画では、平成37年を底地として回復していこうという計画になっており、総合計画との整合性でも、5園化が妥当だろうと考えている。
- 委員 資料3頁（2）①、なぜ民営化なのかについて。地域に根ざした特色ある教育・保育が行われるとか、家庭の考えに合った園を選択することができるかとあるが、本当にできるのか。それと、公立であれば行政が入っていて、それが私立の法人になると個性を出していたのが、地域に根ざしたものがどう入ってくるのか。官民の連携を検討していくとあるが、具体的に協定を締結するということもあるが、どの程度の連携が、行政の指導が入るのか不安が感じられる。
- 事務局 旧掛川市でも8園化構想として大規模な再編を行ったが、その際にも同じ課題が出た。法人が運営をするのだが、市教育委員会と協定を結び常に連携していく、見に行ったり指導したりというふうになっている。それが掛川らしさになっている。年数回、指導主事が園を訪問し、研修会を開き、質の向上に努めている。もちろん法人も努力をされ、特色ある経営をされている。相乗効果によりすばらしい連携ができています。そうした経験を活かして大東大須賀区域についても同じような考え方を取りながら進めていきたい。園同士の交流も大事で生み出したい、それが未来学会の取り組みである。
- 委員 交流をすることと、指導主事が訪問したりしてバランスがとれた教育が行われることが保育とともにあるということか。
- 事務局 そうである。これからは認定こども園ということで、できるだけ一つのものにして保育も教育も行う。どの子にも同じ質の高いものを準備できる体制にしたい。国の動きの中にも教育を充実させるべきという意見も出ている。掛川市ではそれを更に強く打ち出していきたい。先程の人口の見込について、現在の資料に記載がない。今後の予測、推測を記載していくようにする。
- 委員 みんな心配しているのは、そのままの人口でいったらどうなるのかということ。全国的に人口は増えないという考えがみんなあるから、そこが一番心配。
- 委員 単純な人口動態と市が掲げている総合戦略の計画での人口推計と、2段階構えで載せて欲しい。
- 委員 10年後を目標にした地区別人口動態はあるが、掛川市全体ではそれ以降2040年までのものがあり、これが曲者。何もしなければ相対的には東京一極集中、他はどんどん減少していく。隣町を気にしながら市では戦略をしている。将来的にはそんな程度のことでは埋没してしまう。もっと広域行政を展開しながら、2040年には今よりも5千人増やして12万人を目標にしている。そうしたものが背景にあって5園化という計画になっていると思う。ただし、施策と現実とのギャップはどうしても出てくる。課題は多い。
- 委員長 総合計画の中で市が目指そうとしている人数ですが、資料4に参考資料として入れ込むという考えもある。誰が見ても納得できるような体裁にした方がよいと思う。
- 委員 資料3頁（2）①「保護者はそれぞれの家庭の考えに合った園を選択することができる」とある。人口が減っていく方向ならこれでいいと思うが、保護者が園を選択しても入園できる保障がない。その地域で定員がオーバーした場合、地域優先になるということがある。オーバーすることがなければ通る文章であると思う。この一文は入れる必要がないのではないか。
- 事務局 現時点で保育のニーズに対して認可保育施設の受入定員の枠が少ないために希望施設以外に入園された方が120人程度いる。そのうち半分程度は認可外施設や幼稚園に入られている。市の考え方としては希望される保育施設に入れるような施設整備をするのが基本だと考えている。しかし特定の施設に希望が殺到すると受け皿が溢れてしまうので、希望に添えなくなることは現実としてある。今後、施設整備が進んでも第1希望が通らない現実が残ると思う。この部分の考え方は、民営にすると特色をもつ園を保護者が選べるという意味合いであるが、委員が言われたようにも受け取れることから、表現について検討していく。
- 委員 資料3頁（1）⑤、認定こども園に移行した4園の定員を教えてください。
- 事務局 掛川こども園→255人、あんり→300人、こどもの森→120人、くるみ幼稚園→315人。
- 委員長 基本的な考え方として、措置ではなく保護者が希望する所に入るのが大前提になる。ただ、現実的に希望する所に入りたければ、幼稚園・保育園を卒園後に小学校をどこにするかと

いう時に、友達の関係でやはり地元ということになることが多いのかなという気がする。表現を含めて検討して欲しい。

委員の中にも保護者の方がいる。園を選択する時はどのような基準で選ばれたのか、参考に教えていただきたい。

委員 上の子どもが0歳の時に、地元の保育園に行きたかったが、希望が多いと聞いたので、とりあえず入れるように隣の地区の園を第1希望とした。待機になると困るので絶対入れるように、そのように判断した。

委員 地元であるため、今の保育園を希望した。なかには通勤のルートの関係で地元以外のお子さんもいるが、4～5歳くらいになると小学校への移行を考えて転園したり、転園を希望したが年度途中で入れなかったという方もいる。先を考えると小学校への円滑な友達関係とか、特にこの地域は子どもの人数も少ないので、一番考えるのは友達関係だと聞く。通勤ルートも考えるが最終的には子どものことを考えると地元を選ぶのかなと感じる。

委員 幼稚園に行っているが、地元しか考えていなかった。

委員 地元以外の幼稚園を考えている人はほとんどいない。会社の社宅に住んでいて、いずれ引越する人は少し遠くの私立の保育園を選ぶということを知る。それ以外は当たり前のように地元の幼稚園を考えている。

委員 園の方針等は考えず、地元だからという理由で地元の幼稚園を選んでいる。

委員長 大学は建学の精神があるが、園の方針を明確に理解して、ここでなければダメという方は少ないように思う。今お聞きしたように、友達関係や地元ということが基準となっている。この段階では予測は難しいが、なるべく選択と入園が一致するようなやり方を検討しなければならぬのかなと思うので、検討していただきたい。

## (2) 大東大須賀区域認定こども園の整備場所について

資料3について事務局より説明。

### 質疑

委員長 質問、意見等があればお願いしたい。

委員 大淵地区ですが、おおぶち保育園をそのまま使用すればいいのだろうけど、施設も新しいが少し狭いのではないかな。道に囲まれていて、もう少し広さを与えてあげられたらいいなと思っている。今の場所でも拡張はできないか。

あと、海岸からの距離でいくと、すぐ隣に川があり津波の遡りが考えられて心配である。横須賀幼稚園の位置で心配であればおおぶち保育園の位置もやや危ないのではないかな。津波避難の施設があるといい。場所がそこが望ましいなら諸々の諸施設の整備を考えていく必要があると思う。今の施設では物足りなさを感じる。

委員 大須賀の球場の話が出ているが、現在、少年野球等でそこを使用している。代替えは作るのか。市に予算、財源があるかどうか問題がある。

横須賀高校の北側については、自然に恵まれたとてもよい所。坂が急なため、子どもが体を鍛えるにはよいが保護者にとっては大変。しかし、整備のしようによっては改善は可能であると思っている。地権者もそういう目的なら協力してくれそうである。

委員 お金のない時代に普通考えられることは公設民営。行政改革を考えていくと民設民営も検討しなければいけない。経営的なことを考えると既存の大東福祉会・大須賀苑がやってくれるのが安心だが、法人が建設までやる能力は厳しいと思う。そういったことも検討課題に上げて欲しいと思う。

委員 小学校と幼稚園保育園が隣にあると交流しやすいので、大坂や千浜についてはこの案で交流しやすいという感想を持った。城東地区については3小学校とそれぞれの幼稚園・保育園とあるのでそれを地域でどう考えていくかに係ってくる。そのため候補地が2つあがってきて、どちらかに決めるにはすぐには答えが出てこないのだろうと思った。

千浜については一番よい所に学校があると思うが、すぐ横に川にあり、津波が遡上してくるとい心配があるので、それについての説明があるとよいと思う。

委員 資料3頁3、運営法人について、市へ提案してもらおうとあるが、提出時期は決まっているのか。

事務局 具体的にはまだ未定。園が一緒になるなかでは先生方の交流も大事なため、早めに調整してお

願いでいきたい。

委員 おおぶち保育園も移転してもらえらるなら移転の方がよいが、どの案にしても現実的に可能かどうかをきちんと吟味していただきたい。コストの面も考えていかなければ。現在、おおぶち保育園は改修しない前提で進んでいると思うので、現実的に可能かどうか検討しないと先に進まない。候補地についても優先順位をつけていくとよいと思う。特におおぶち保育園については、建設当時から幼保ということで建てて、職員もいつなるのかと過敏であった経緯がある。現状で使えるなら使っていきたいと法人としても思う。将来的には移転したいという希望もある。

委員 公設公営、公設民営、民設民営。どうするかは早めに決めた方がよい。事務局側で考えていることがあるなら、伺いたい。

事務局 民設民営になると思う。国からの補助をもらうためには民間が建設することが前提になるため。市全体として民営化をお願いするという話であるため、財源については法人に極力負担を掛けないように支援していきたい。

委員 職員の立場はどうなるのか。公務員でなくなるなら退職する人が出てくるのではないのか。今までは公務員の立場があるからがんばってきたのが、だったら退職してもっと待遇のよい所に行くということも考えられるのではないのか。

事務局 身分については、各職員の希望を聞きながら丁寧に決めていく。保育士不足の面からも慎重に、よい方法を考えなければならぬと思っている。

委員 保育士の問題はお金をかければ解決する問題でもないと思う。過去に大東町大須賀町でも保育園を民営化した実績があり、公務員から民間法人に移ってもらった職員がいる。一人一人ヒアリングを重ねて、最後は泣く泣く理解してもらった方もいる。覚悟して対応して欲しい。

### (3) 提言について

資料4について事務局より説明。

#### 質疑

委員 資料2頁、職員数の内訳は半分くらい非常勤だと聞いたが。正規・非常勤の内訳を入れた方がよいのか、逆に入れない方がいいのか。

委員長 内訳を入れた方がよいかどうか、事務局でご検討いただきたい。

資料4頁6、ここがまさに提言になるのだが、タイトルが「あり方について」なので、6番を一番始めに持ってくるというのはどうだろうか。この提言に至った理由に関しては以下のとおりであるということで、1推進委員会の目的とか。そのような順番の方がわかりやすいかもしれないので、検討してもらいたい。

これは、どこかの時点で市長に渡すようなものになるのか。それともこの委員会としてこういうものができました、と終わりになるのか。

事務局 市としても、この委員会で議論したことをできるだけ尊重した形で最終決定していこうという思いがあるので、「提言」としようということである。市長にお渡しするとか、セレモニー的な部分については検討させていただきたい。

委員 委員の皆さんは委嘱をされて出させてもらっているから、そういう形をとってけじめにした方がよいかもしれない。

委員長 本日も有益なご議論をありがとうございました。

### 5 その他連絡事項 事務局より

次回は7月頃に開催したい。

### 6 閉会